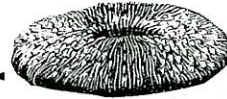
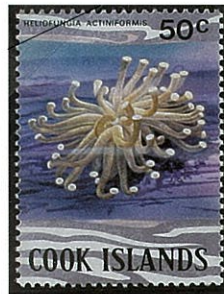


パラオクサビライシ

分類：イシサンゴ目 クサビライシ科
 学名：*Heliofungia actiniformis*
 英名：

琉球列島から熱帯海域のサンゴ礁のやや波の静かな礁斜面や礁池の砂礫底に生息する自由生活の単体サンゴ。中央に長い口があり、それから放射状に隔壁が周縁に向って直線状に走る。隔壁の縁には大きなギザギザの鋸歯がある。下面は白色で肋が放射状に走り中央部に付着痕が残る。外形はイソギンチャクのように触手は太くて長くその先端は白色のふくらみとなり、ハナヤサイサンゴ類の触手に似ている。触手はふれただけでは縮まない。20cmを越す個体もある。



クサビライシ

分類：イシサンゴ目 クサビライシ科
 学名：*Fungia scutaria*
 英名：

沖縄から熱帯海域にかけてのサンゴ礁の8~10m位のところに生息する。長楕円形なるも周縁が不規則な形になったり、幾つかの切れこみの入ることもある。中央部がわずかにもり上がる単体性自由生活のサンゴで長径15cmを越えることがある。普通褐色ないしは淡褐色で、緑やピンクの模様が入ることもある。隔壁のやや大めの部分が白いので他種との識別は容易である。昼間は触手を伸ばさない。緑やピンクのふくらみがほぼ均等に見られるが、この部分が触手である。隔壁の縁には細かい歯が並ぶ下面を幾つかの穴が開き、細かい棘の並んだ放射状の肋が走る。

